

令和 7 年度第 3 回社会教育委員会議 資料 別冊

毎年測定指標		対応する取組	事業名	所管課	R6実績値	R5実績値	指標
① 市主催事業の参加者数	人生100年時代への対応	1-4リカレント教育の推進	リカレント教育の充実	社会教育課・公民館	293 人	565 人	市主催事業の参加者数（人）
			創業支援事業	商工振興課	100 人	112 人	市主催事業の参加者数（人）（ふなばし起業スクールオープンセミナー・ふなばし起業スクールフォローアップセミナー）
		1-5高齢期を豊かに生きるための学習の推進	高齢者学級	公民館	14,881 人	13,350 人	市主催事業の参加者数（人）
			ふなばし市民大学<いきいき学部>	社会教育課	242 人	268 人	修了者数（人）
			高齢者いきいき健康教室	高齢者福祉課	564 人	442 人	市主催事業の参加者数（人）
			ふなばし健康まつり	地域保健課	8,384 人	6,000 人	市主催イベントの参加者数（人）
		2-2健康づくりに関する学習の推進	ふなばし健やかプラン21講演会	健康政策課	72 人	56 人	共催講演会の参加者数（人）
			介護予防教室	健康づくり課	2,228 人	1,988 人	市主催事業の参加者数（人）
			健康教育事業（成人）	地域保健課	8,667 人	4,562 人	市主催事業の参加者数（人）
			ふなばし健康ポイント事業	地域保健課	12,248 人	6,677 人	市主催事業の参加登録者数（人）
	2-2運動習慣形成のための学習の推進	ふなばしシルバーハビリ体操推進事業	健康づくり課	12,248 人	9,713 人	市主催事業の参加者数（人）	
		公園を活用した健康づくり事業	地域保健課	175,016 人	175,909 人	市主催事業の参加者数（人）	
		運動教室	地域保健課	1,554 人	1,410 人	市主催事業の参加者数（人）	
		食育イベントの開催	地域保健課	423 人	352 人	市主催イベントの参加者数（人）	
		健康づくり公開講座	地域保健課	66 人	83 人	市主催講演会の参加者数（人）	
デジタル化への対応	2-2食育の推進	ふなばし食の安全・安心フォーラム	衛生指導課	34 人	37 人	市主催フォーラムの参加者数（人）	
		保育園での食生活改善・食育の推進	保育運営課	1,212 人	960 人	市主催事業の参加者数（人）	
		地産地消及び学童農園推進事業	農水産課	42,124 人	46,065 人	市主催キャンペーン等の参加者数（人）	
		インターネットを利用した学習の提供	各事業所管課・施設	3,681 人	726 人	事業の参加者数（人）	
		デジタルデバйд対策講座	公民館・社会教育課・西図書館	1,427 人	1,595 人	市主催講座の参加者数（人）	
「共生社会」実現のための取組の充実	1-2日本語教育の充実	公民館スマホコンシェルジュサービス	公民館・社会教育課	238 人	247 人	相談を受けた人数（人）	
		日本語教育の充実	社会教育課・指導課・国際交流課・商工振興課	34 人	0 人	市主催事業の参加者数（人）	
		帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業	指導課	401 人	316 人	市主催事業により支援を受けた児童・生徒数（人）	
		学習支援事業	こども家庭支援課	318 人	303 人	市主催事業の参加者数（人）	
		ひとり親家庭向けデイキャンプ	こども家庭支援課	20 人	23 人	市主催事業の参加者数（人）	
	1-3学習や体験機会の提供	ふなばし地域若者サポートステーション事業	商工振興課	4,344 人	5,167 人	市主催事業による、相談者数、職場体験・見学者数、セミナー・保護者セミナー等・個別相談会参加者数（人）	
		就業支援講習会事業	こども家庭支援課	61 人	126 人	市主催講習会・セミナーの参加者数（人）	
		地域人権啓発活動活性化事業	福祉政策課	120 人	0 人	市主催啓発イベントの参加者数（人）	
		男女共同参画に関する学習の推進	市民協働課	772 人	340 人	市主催講座の参加者数（人）	
		性的少数者への理解に関する啓発事業	市民協働課	17 人	7 人	市主催講座の参加者数（人）	
	2-3心のバリアフリーのための学習の推進	福祉体験講座	障害福祉課	75 人	82 人	市主催講座の参加者数（人）	
		精神疾患等の正しい知識の普及啓発事業	保健総務課	45 人	71 人	市主催講演会の参加者数（人）	
		「市民のための講演会」	療育支援課	2,741 人	513 人	市主催講演会の参加者数（人）	
		相互理解促進事業	国際交流課・生涯学習部が所管する施設	814 人	323 人	市主催事業の参加者数（人）	
		合 計				295,464 人	278,388 人
② 市生涯学習施設の利用者数	3-4公民館の充実	公民館の充実	公民館	1,545,053 人	1,531,210 人	延べ利用者数（人）	
		図書館サービスの充実	西図書館	1,036,011 人	1,001,873 人	延べ利用者数（人）（図書館及び公民館図書室等の貸出者数）	
		大神保青少年キャンプ場の充実	青少年課	9,134 人	9,409 人	延べ利用者数（人）	
		一宮少年自然の家の充実	青少年課	23,634 人	21,999 人	延べ利用者数（人）	
		青少年会館の充実	青少年課	40,243 人	42,279 人	延べ利用者数（人）	
合 計				2,654,075 人	2,606,770 人		

基本施策Ⅰ：多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

基本施策Ⅰ：多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

毎年測定指標			対応する取組		事業名		所管課	R6実績値	R5実績値	指標
① 地域・社会で活躍する人材・団体数	1-2地域・社会で活躍する団体の育成と支援	社会教育関係団体の結成支援と存続支援（会員数）	社会教育課	95,268 人	97,660 人	会員数（人）				
	2-2地域の子供を地域で守り育てる体制の整備・充実	社会教育関係団体の結成支援と存続支援（団体数）	社会教育課	1,791 団体	1,836 団体	団体数（団体）				
	3-1活動に関する情報提供の充実	学校教育活動支援ボランティア	指導課	2,356 人	2,566 人	登録者数（人）				
	3-2活動へつなげるコーディネート機能の強化	学習サポート派遣事業	指導課	121 人	115 人	登録者数（人）				
		ふなばし市民力発見サイト（団体）	市民協働課	463 団体	544 団体	登録団体数（団体）				
② 行政以外の主体との連携・協働により行った事業の実施回数	1-1地域・社会で活躍する人材の育成と支援	災害時外国人支援サポーター養成事業	国際交流課	1 回	1 回	登録個人数（人）				
	2-1地域課題に関する学習と活動の推進	船橋市生涯学習コーディネーターの支援	公民館・社会教育課	86 回	73 回	生涯学習サポート事業の登録者数（人）				
		地域課題発見・解決事業（市民の力活用事業）	公民館	4 回	9 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
		市民公益活動公募型支援事業	市民協働課	17 団体	11 団体	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-1防災学習の推進	防災講座	公民館	20 回	15 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-1防災学習の推進	公民館における防災訓練	公民館	23 回	14 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-1健康づくり・介護予防の推進	総合防災訓練	危機管理課	1 回	1 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-1防犯体制整備の支援	市民ヘルスマーケティング	健康づくり課	53 回	26 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-2家庭教育の支援	防犯パトロール支援事業	市民安全推進課	244 団体	240 団体	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-2地域の子供を地域で守り育てる体制の整備・充実	就学時健診等における子育て学習	公民館	52 回	53 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	2-3地域における交流機会の創出	家庭教育セミナー	公民館	70 回	56 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	3-2活動へつなげるコーディネート機能の強化	公民館における学社連携事業	公民館	45 回	48 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
		地域学校協働活動	青少年課	83 人	0 人	地域学校協働活動推進員の委嘱数（人）				
		公民館での地域交流事業	公民館	64 回	65 回	地域との連携・協働により主権・共催で行った文化祭・福祉まつり・こどもまつりの実施回数（回）				
		子育てサロン、ミニデイサービス、ふれあい・いきいきサロンの事業の補助	地域福祉課	1,614 回	1,572 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）				
	市民活動フェア	市民協働課	1 回	1 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）					
	ふなばし夏のボランティア体験事業	市民協働課	1 回	1 回	行政以外の主体との連携・協働により主権・共催で行った事業の実施回数（回）					
合 計				2,383	2,190	R6実績値内訳（2,039回 261団体 83人）				
基本施策Ⅱ：「学習と活動の循環」の促進										

「文化・芸術」、「生涯スポーツ」、「分野の全体進捗指標

分野	方針、計画	指標	所管課	R6実績値	R5実績値	方向性
文化・芸術	第2次船橋市文化振興基本方針	市主催事業の参加者数	文化課	66,600 人	72,229 人	／
		市文化施設の利用者数	文化課	308,560 人	315,093 人	／
生涯スポーツ	第二次船橋市生涯スポーツ推進計画	市主催事業の参加者数	生涯スポーツ課	131,350 人	128,456 人	／
		市体育施設の利用者数	生涯スポーツ課	2,426,135 人	2,555,532 人	／
		スポーツ関係団体の会員数	生涯スポーツ課	36,678 人	34,528 人	／
		スポーツ関係団体の団体数	生涯スポーツ課	65 団体	65 団体	／
		地域住民と連携・協働により行った事業の実施回数	生涯スポーツ課	401 回	379 回	／

ふなばし一番星プラン

令和6年度 点検対象事業の目標達成状況

基本施策Ⅰ…多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

令和6年度点検対象事業： 18事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（4事業）	↗	3	a
	→	1	
	↘	0	
→（14事業）	↗	4	b
	→	7	c
	↘	3	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅰ) 78%

※ 目標達成事業数（a+b+c）：14／基本施策Ⅰの点検対象事業数：18

基本施策Ⅱ…「学習と活動の循環」の促進

令和6年度点検対象事業： 12事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（4事業）	↗	3	d
	→	0	
	↘	1	
→（8事業）	↗	3	e
	→	3	f
	↘	2	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅱ) 75%

※ 目標達成事業数（d+e+f）：9／基本施策Ⅱの点検対象事業数：12

全体（基本施策Ⅰ＋基本施策Ⅱ）

令和6年度点検対象事業： 30事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（8事業）	↗	6	g
	→	1	
	↘	1	
→（22事業）	↗	7	h
	→	10	i
	↘	5	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅰ・Ⅱ) 77%

※ 目標達成事業数（g+h+i）：23／基本施策Ⅰ・Ⅱの点検対象事業数：30

令和5年度 点検対象事業の目標達成状況

基本施策Ⅰ…多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

令和5年度点検対象事業： 18事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（13事業）	↗	8	a
	→	1	
	↘	4	
→（5事業）	↗	2	b
	→	3	c
	↘	0	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅰ) 72%

※ 目標達成事業数（a+b+c）：13／基本施策Ⅰの点検対象事業数：18

基本施策Ⅱ…「学習と活動の循環」の促進

令和5年度点検対象事業： 13事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（9事業）	↗	6	d
	→	1	
	↘	2	
→（4事業）	↗	2	e
	→	1	f
	↘	1	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅱ) 69%

※ 目標達成事業数（d+e+f）：9／基本施策Ⅱの点検対象事業数：13

全体（基本施策Ⅰ＋基本施策Ⅱ）

令和5年度点検対象事業： 31事業

目標の方向性	実績	事業数	
↗（22事業）	↗	14	g
	→	2	
	↘	6	
→（9事業）	↗	4	h
	→	4	i
	↘	1	
↘（0事業）	↗、→、↘	0	

目標の方向性を達成した事業の割合(基本施策Ⅰ・Ⅱ) 71%

※ 目標達成事業数（g+h+i）：22／基本施策Ⅰ・Ⅱの点検対象事業数：31

基本 施策				施策		取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細		
Ⅰ	1	多様な学 習ニーズ への対応	1	新たな学 習スタイルへの対 応	時間や場 所にとら われない 学習の提 供	2	インターネットを 利用した学習の提 供	継続	●	各事業所管 課・施設	時間や場所にとらわれず、好きな時間に好きな場 所で学習できるよう、「ふなばし生涯学習チャン ネル」をはじめとして、インターネットを利用し た学習の提供を行います。また、「オンラ インによる学び」と「対面による学び」を組み 合わせる等、より高い学習効果を得るための実 施方法を検討し、学習機会を提供していきます。	●	事業管理表の点検 対象事業のうち、 インターネットを 利用した学習の数 と参加人数	→		学習の数8 参加人数179	学習の数7 参加人数151	学習の数7 参加人数788	→	学習の数に変動はないが、参加人数 の数が大幅に増えている。 飯山満公民館で実施した講座を撮影 して動画コンテンツ化し、時間や場 所にとらわれずに学習機会を提供す る講座を新たに実施したため、参加 人数が大幅に増えた。	継続	→			
					デジタル デバイド 対策の推 進	2	デジタルデバイド 対策講座	継続	●	公民館・社 会教育課・ 西図書館	官民によるデジタル化が進む中、市民がデジタル 化のメリットを享受できるよう、また、自然災 害等の不測の事態が起こった際に自らの安全や 命を守ることができるよう、各施設でデジタルデ バイド（インターネットやパソコン等のICT機器 を利用できる者とできない者の格差）対策のた めの講座を実施していきます。	●	講座実施件数	→		256	233	224	→	講座を実施する事業者の都合や一部 公民館の休館により、全体としては 講座実施件数がやや減少したが、昨 年度と同様の水準で市民のデジタル デバイド対策に取り組むことがで きた。	継続	→			
							公民館スマホコン シェルジュサービ ス	継続	●	公民館・社 会教育課	研修を受けた職員が「スマホコンシェルジュ」 となり、基本操作やインターネット検索方法な どの”ちょっとした質問”に答えるサービスを公民 館にて実施していきます。	●	公民館スマホコン シェルジュ設置公 民館数	→		12	26	25	→	休館中の公民館を除き実施した。身 近な公民館でスマートフォンの操作 を気軽に聞ける場所として引き続き 実施していく。	継続	→			
				2	外国人住 民等への 学習支援	日本語教育の充実	3	日本語教育の充実	継続	●	社会教育 課・指導 課・国際交 流課・商工 振興課	令和元年6月に施行された「日本語教育の推進に 関する法律」等に基づいて、子供や被用者等を含 めた外国人住民に対する日本語教育の充実を図り ます。	●	所管課による主 催・共催の日本語 教育事業の実施回 数	→		141	163	168	↗	外国人住民が1日も早く日本社会に 溶け込み生活できるよう、日常生活 に必要な日本語を学習する機会を継 続的に提供できた。	継続	→		
						外国人住 民等に向 けた生涯 学習情報 の発信	3 ・ 4	「やさしい日本 語」による生涯学 習情報の発信	継続		生涯学習部 が所管する 施設・社会 教育課・国 際交流課	外国人住民が生涯学習施設について必要な情報 を得られ、施設の使用や事業への参加ができる よう、生涯学習情報について、「やさしい日本 語」を活用した案内を行います。また、来 館した外国人住民に適切な接遇ができるよう、 職員のスキルアップを図っていきます。	●	生涯学習ガイド ブック「楽しく学 ぼうふなばし」に 掲載する外国人住 民におすすめの事 業数	→		10	18	64	↗	外国人住民におすすめの事業数が増 加し、多様な対象者に向けた講座が 増えているものと思われる。	継続	→		
								外国語による生涯 学習情報の発信	継続	●	生涯学習部 が所管する 施設・社会 教育課・国 際交流課	外国語による生涯学習情報の提供を行うため、 国際交流協会で発行する外国人住民向け生活情報 紙「ようこそ・ふなばし（やさしい日本語・英 語・中国語の3か国語）等による情報提供を行 います。													
			3	困難を抱 える子供 への学習 支援	帰国・外 国人児童 生徒への 支援	帰国・外国人児童 生徒等に対するき め細かな支援事業	3	帰国・外国人児童 生徒等に対するき め細かな支援事業	継続	●	指導課	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒に対 して、日本語指導員・日本語指導協力員を派遣し ます。													
						不登校児 童生徒へ の支援	—	不登校相談活動	継続		青少年セン ター	不登校児童・生徒の社会的自立に資するため、青 少年及びその保護者、学校関係者等の来所相 談、通所相談、電話相談、メール相談等の支援 を行います。また、家庭や学校等への訪問によ る相談も実施します。不登校対策の一環として 「一宮ふれあいキャンプ」を実施します。													
								適応指導教室「ひ まわり」	継続		総合教育セ ンター	不登校児童・生徒の社会的自立に資するため、相 談・学習支援・小集団活動・体験活動等を実施 します。													
						学習や体 験機会の 提供	3	学習支援事業	継続		こども家庭 支援課	生活困窮世帯・生活保護世帯・ひとり親世帯等 の中学生を対象に、学習支援を行うとともに、 進学、進路、その他の相談にも応じます。ま た、高校中退防止の取り組みとして、高校進学後 の相談等を行います。 R2年度10会場で実施していたところ、R3年度よ り11会場にて実施。	●	参加者数	→		326	303	318	→	定員数は昨年同様360名であり、参 加者数についても300名程度と、大 幅な増減はなく、安定している。	継続	→		

基本 施策					施策	取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細				
							ひとり親家庭向け デイキャンプ	継続		こども家庭 支援課	自然体験や集団遊び等の活動機会や同じ境遇の 人たちとの交流の場の提供を目的として、ひとり 親家庭のみを対象としたキャンプ事業を実施し ます。																
						4	再チャレ ンジする 人への学 習支援	リカレント教育の 推進	1	リカレント教育の 充実	継続	●	社会教育 課・公民館	成人に対して行う、職業的な自立支援をはじめと し、社会の変化に対応する高度で専門的な知識・ 技術なども学ぶリカレント教育に関する学習機会 を提供します。	●	リカレント教育に 関する事業数	→	11	15	14	→	昨年度と同水準の事業数を実施し、 成人向けに学び直しの機会等を提供 することができたが、公民館によっ ては、参加者数がなかなか集まらない 結果となり、ニーズの把握やテー マ設定等に課題が感じられた。	継続	→			
										創業支援事業	継続	●	商工振興課	船橋商工会議所、日本政策金融公庫等と連携 し、創業希望者を創業段階から創業後まで、長 期的に支援する体制を整えます。具体的には、創 業への意識啓発及び知識取得を目的としたセミ ナーを開催、また、交流会を開催し創業者同士 の交流を図ります。													
							職業的な 自立の支 援	3	ふなばし地域若者 サポートステー ション事業	継続		商工振興課	働くことに悩みを抱える若者等が就労に向かえる よう、多様な就労支援でサポートします。														
									就業支援講習会事 業	継続		こども家庭 支援課	ひとり親家庭の母・父やその児童、寡婦、離婚 前の者を対象として、就職に有利なパソコン技能 の習得や資格取得のための講習会、就職準備・ 離転職セミナーを開催します。なお、令和5年7 月より対象者に離婚前の者が追加されました。														
						5	高齢期を 豊かに生 きるため の学習支 援	高齢期を 豊かに生 きるため の学習の 推進	1	高齢者学級	継続	●	公民館	高齢者を対象として、一般教養、趣味活動や健康 保持のための学習機会を提供します。													
										ふなばし市民大学 校＜いきいき学部 ＞	継続	●	社会教育課	高齢者を主な対象として、くらしに関する教養 や、こころとからだの健康等について学習でき る機会を提供します。													
										高齢者いきいき健 康教室	継続		高齢者福祉 課	楽しく体を動かすことにより、高齢者の閉じこも り解消、健康維持と体力増進を図るため、老人 福祉センター等で健康教室を実施します。 令和3年度より、ひとり暮らし高齢者いきいき健 康教室と統合し、実施会場を8会場9教室から14 会場15教室に拡大します。													
			2	充実した 学習機会 の提供	1	青少年の 豊かな心 の育成の ための取 組の推進	青少年の 居場所づ くり	-	ふなばしハッピー サタデー	継続	●	青少年課・ 公民館	子供たちがスポーツや文化活動に親しむことに より、豊かで健全な心身を培うことを目的とし て、市内26公民館で毎月第3土曜日を中心に地域 団体や地域住民の協力を得て、実施します。														
									放課後子供教室推 進事業	継続		青少年課	心豊かでたくましい子供を社会全体で育むた め、小学校の余裕スペース等を活用して、子供た ちの活動拠点を確保し、放課後等における様々 な体験活動や交流活動等を支援します。														
									放課後ルーム事業	継続		地域子育て 支援課	保護者の就労等により、放課後に家庭で子供だ けになってしまう小学生に、遊びと生活の場を用 意します。														
児童ホーム事業	継続	●							地域子育て 支援課	子育て支援・児童健全育成等、児童とその保護 者を対象として事業を開催するとともに、自由な 交流の場としての展開を図ります。また、児童 ホームがない地区コミュニティ等については、引 き続き公民館にて巡回児童ホーム事業を実施し、 児童ホーム機能を提供します。																	

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細			
					体験活動 の推進	-	体験活動機会の提供	継続	●	青少年課	青少年の健全育成を目的として、青少年キャンプや船橋市・津別町青少年交流、少年少女交歓大会等、体験活動の機会を提供します。														
							ふなっこ未来大学	継続	●	青少年課	子供たちが主体的に考え、学びに向かう力を育むとともに、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとするため、市内の大学等と連携し、大学の教室や生涯学習施設等を会場として、専門分野の有識者による講義を行います。	●	定員数に対する申込者数の割合	↗	165.0%	72.2%	236.7%	↗	連携する大学数が2校に増えたことで講座の選択肢も広がり、申込者数の増加につながった。しかし、定員を大幅に超え、受講できない方も多く出たため、講座数や定員数を検討していく。	継続	→				
					子供の読 書活動の 推進	-	セカンドブック事業	継続	●	西図書館	より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子供などに、図書館等で絵本を1冊手渡し、来館やおはなしの会への参加を促す。	●	絵本配布率	→	45.4%	44.7%	43.4%	↘	前年度から配付率が低下しているが、施設の改修工事等により北図書館及び新高根公民館図書室が利用できなかったことが要因の一つと考えられる。	継続	→				
						インター ネットや SNSによ る被害・ 加害の防 止	-	インターネット安全利用講座	継続		青少年課	子供たちがインターネットのトラブルに巻き込まれないために、親子で一緒に学ぶ講座を行います。													
								市立学校ネットパトロール等事業	継続		青少年センター	問題行動等の未然防止を図るとともに、いじめや犯罪被害等から児童生徒を守るため、市立学校に関わる定期的なネットパトロールを実施し、学校非公式サイトや、ソーシャルネットワークサービス等への不適切な書き込みや画像の早期発見・早期対応を行います。													
						スクールロイヤーによる予防教育	継続		指導課	児童生徒を対象とした、法的側面からの予防教育（いじめやSNSの危険等に関する授業や講演）を実施します。															
					2	健康維持・増進のための学習機会の提供	健康づくりに関する学習の推進	1	ふなばし健康まつり	継続	●	地域保健課	市の健康増進計画「ふなばし健やかプラン21」の推進のため、広く市民の健康づくりの動機付けとなるよう、健康関連情報の提供や軽スポーツ体験、レクリエーション等を実施するイベントを、市民・団体・企業・行政等が協働して開催します。 「ヘルシー船橋フェア」との統合により、新たに介護予防分野を加えるなどより一層の充実化を図っていきます。												
									ふなばし健やかプラン21講演会	継続	●	健康政策課	「ふなばし健やかプラン21」推進の一環として、健康づくりに関する講演会を、市民が主体となる市民運動推進会議と市が共催で開催します。												
									介護予防教室	継続		健康づくり課	住み慣れた地域で暮らし続けるために、要介護状態になることを予防し、生き生きと毎日を過ごせるよう、運動器の機能向上、口腔機能の向上、栄養改善の知識、認知症予防に有効な生活習慣などを学べる教室を開催します。												
									健康教育事業（成人）	継続	●	地域保健課	積極的な健康づくりを促すため、健康の保持・増進および生活習慣病予防のための各種健康講座を市内各地で実施します。												

基本施策					取組	リーディング	事業名	事業区分	連携協働	所管課	概要	点検対象	点検指標	目標区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7事業区分	R7目標区分	R7詳細
					運動習慣形成のための学習の推進	1	ふなばし健康ポイント事業	継続		地域保健課	「健康寿命の延伸」を目標に、市民が行うウォーキングや体操等の活動に対して、ポイントを加算し、特典を付与する健康ポイント事業を実施し、健康づくりのきっかけづくりや運動習慣の定着を図ります。	●	事業参加登録者数（活動量計・スマホアプリ・ICカードの登録者数の合計）	↗	5,863	6,677	7,496	↗	参加登録者数は増加しているが、事業開始当初に比べ、新規登録者数は伸び悩んでいる。	継続	↗	利用者のモチベーション向上と働き世代へのアプローチを目的として、新たに事業所対抗ランキングを導入する。
							ふなばしシルバーリハビリ体操推進事業	継続	●	健康づくり課	市民一人ひとりが無理なく始められ、誰にでもできる体操である「ふなばしシルバーリハビリ体操」は、市民自らの健康寿命の延伸を図るとともに、市民相互に支えあって地域の健康づくりと介護予防に取り組むことを目的としています。指導士会と協力し、町会、自治会への働きかけ等により、体操教室の空白地域解消に取り組みます。	●	体操教室数（年度会場数）	↗	1,083	1,610	1,682	↗	会場数の増加により、ふなばしシルバーリハビリ体操参加者数も増加している。アンケートでも参加者からの評判も良い結果となっている。	継続	↗	初級指導士養成講習会の回数を増やし、指導士数を計画値まで伸ばす。
							公園を活用した健康づくり事業	継続	●	地域保健課	市民が運動習慣を身に付けられるよう、自治会や市民団体等が身近な公園等を活用してラジオ体操や3Q体操、太極拳や気功等の健康体操を行います。											
							運動教室	継続		地域保健課	運動習慣を定着させるために、コース制の運動教室を実施します。											
					食育の推進	1	食育イベントの開催	継続	●	地域保健課	食育に関心を持ち、日頃の健康づくりや食生活改善に役立てる機会とするため、関係課や食に関する団体と連携を図りながら、食育活動を紹介するイベントを開催します。											
							健康づくり公開講座	継続	●	地域保健課	健康や栄養に関する講演会を船橋市栄養士会、船橋市保健所管内集団給食協議会、船橋市調理師会と共催で実施します。											
							ふなばし食の安全・安心フォーラム	継続		衛生指導課	食品衛生知識の普及のため、消費者・生産者・食品等事業者を対象として、フォーラムを開催します。											
							保育園での食生活改善・食育の推進	継続		保育運営課	保育園児や保護者、地域の子育て家庭に対し「食を楽しむ」ための環境づくりや食体験の場を提供します。また、個々の発達に応じた食形態での食事の提供や介助から、食べる意欲につなげ、さらに、食の自立に伴い栽培や調理体験から食への興味を広げ、個別に食に関する相談に応じます。											
							地産地消及び学童農園推進事業	継続		農水産課	地場産の農水産物をPRするため市内デパートでのPRキャンペーンや農水産祭を行います。学童農園などにより児童・生徒が直に農作物の栽培を体験し、農業や食の大切さを学ぶ機会を提供します。											
	3	人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供	人権に関する学習の推進	3	地域人権啓発活動活性化事業	継続		福祉政策課	法務省「人権啓発活動地方委託事業」の一環として、船橋地域人権啓発ネットワーク協議会と協力し、関係団体等と連携した「人権の花運動」等の啓発イベントを1年おきに開催します。													
				男女共同参画に関する学習の推進	3	男女共同参画に関する啓発事業	継続		市民協働課	男女共同参画の意義についての理解を促進するため、講座の開催や啓発冊子等の発行を行います。												
						男女共同参画標語コンクール	継続		市民協働課	男女共同参画について考えてもらうきっかけとして、中学生を対象とした、応募型の標語コンクールを開催します。												
						男女共同参画フェスティバル	継続		市民協働課	男女共同参画に関する活動団体によるワークショップや運営委員による講座などを開催します。												

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細	
					配偶者等からの暴力根絶のための学習の推進	-	配偶者等からの暴力根絶に向けた予防啓発事業	継続		市民協働課	様々な形で存在しうる暴力についての市民の理解を深め、暴力のない社会となるよう予防啓発を行うため、講座の開催や啓発冊子等の発行を行います。												
					性の多様性に関する学習の推進	3	性的少数者への理解に関する啓発事業	継続		市民協働課	性的少数者への理解の促進を図るため、講座の開催や啓発冊子等の発行を行います。												
					心のバリアフリーのための学習の推進	3	福祉体験講座	継続		障害福祉課	小学生や一般市民を対象として、障害者等による講話や障害体験等を通じて障害者への理解と協力について学ぶ機会を提供します。												
							精神疾患等の正しい知識の普及啓発事業	継続		保健総務課	精神障害者に対する偏見、差別の解消及び正しい知識の普及啓発を図るため、講演会を開催します。												
							「市民のための講演会」	継続		療育支援課	発達障害への知識の普及と理解の促進を図るため、市民のための講演会を開催します。												
					多文化共生のための学習の推進	3	相互理解促進事業	継続	●	国際交流課・生涯学習部が所管する施設	国際交流協会による「国際理解セミナー」や「インターナショナルフェスティバル」の開催を支援するとともに、生涯学習部所管施設における事業をととして、市民の国際理解や相互理解を深める機会を提供します。	●	所管課による主催・共催の多文化共生講座・イベントの実施回数	→	14	19	24	↗	実施回数が増加し、相互理解や深める機会を提供することができた。	継続	→		
	4	環境に関する学習機会の提供	環境に関する学習の推進	-	環境パネル展	継続	●	環境政策課	市民・事業者及び行政それぞれが、活動内容をパネル展にて発表し、環境の保全についての関心と理解を深めるとともに環境保全に関する活動を行う意欲の向上を図ります。														
				ふなばし環境フェア	継続	●	環境政策課	市民、事業者及び行政それぞれが、環境意識を高め、健全で恵み豊かな環境の実現を目指し、パネル展示や工作・体験コーナーなどを出展し、子どもから大人まで楽しみながら環境について学べる機会を提供します。															
				ふなばし三番瀬クリーンアップ	継続	●	環境政策課	三番瀬についての関心と理解を深めるため、環境保全に向けた取組として、ふなばし三番瀬海浜公園前砂浜の清掃を行うとともに、マイクロプラスチック調査や自然観察会などの各種イベントも開催します。															
			地球温暖化に関する学習の推進	-	地球温暖化に関する学習事業	継続	●	環境政策課	啓発イベントの企画、地域イベントへの参加、まちづくり出前講座等で地球温暖化対策の啓発資料を活用し、地球温暖化に関する学習を推進します。														
			自然環境に関する学習の推進	-	ふなばし三番瀬環境学習館の運営	継続	●	環境政策課	ふなばし三番瀬環境学習館にて、三番瀬に関する展示や野鳥観察、生き物さがしなどのワークショップを「新しい生活様式」に沿って実施することを通じて、生物多様性への理解を深め、自然環境に関する学習を推進します。														
				ふなばしエコカレッジの開講	継続	●	環境政策課	広く市民が環境活動へ参加するきっかけとして、生物多様性ふなばし戦略改定版のリーディングプロジェクトの取組の一つである「ふなばしエコカレッジ」を開講します。															
				夏休みセミのぬけがら調査	継続	●	環境政策課	身近な自然への関心を深めることを目的として、夏の代表的な昆虫であるセミのぬけがらを集め、その種類の調べ方の学習や、ぬけがらの標本作りの他、公園や緑地の自然度を調べる機会を提供します。															

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細			
						指標種のモニタリ ング調査	継続		環境政策課	生息環境の指標となる生物をモニタリングし、 生息環境の変化を知り、ひいては身近な自然へ の関心を深め、自然環境保全思想の醸成を図る ことを目的とします。市は調査の手引きを作 成・提供し、各個人が調査を行い報告する形式で 事業を実施します。															
						自然体験会・自然 散策会の実施	継続		環境政策課	市内に残された貴重な自然環境に触れて、身近な 自然への関心、理解を深めることでその保全に つなげ、豊かな生物多様性とその恵みを未来へつ ないでいくため、森林等での動植物の観察・解 説を行う自然体験会や自然散策会を実施しま す。															
					循環型社 会構築の ための学 習の推進	-	家庭ごみの出し 方・リサちゃんだ より	継続		クリーン推 進課	ごみの現状とごみの減量についての理解を促進 し、リサイクルの必要性の意識を高めることを目 的として、啓発物を発行します。														
							「クリーン船橋 530の日」「船橋 をきれいにする 日」	継続	●	クリーン推 進課	ごみのない住み良い地域「環境にやさしい美しい 街づくり」を目指した啓発活動として、自治会連 合協議会や市内各団体と共に、市民参加の清掃 活動を行います。														
							資源循環施設見学 の実施	継続		資源循環課	ごみ減量や資源化に関する啓発を図るため、西浦 資源リサイクル施設、北部・南部清掃工場にて、 施設の見学機会を提供します。														
					生活環境 保全のため の学習 の推進	-	水環境の保全に係 る啓発事業	継続		環境保全課	水環境の保全に対する意識高揚を図るため、環境 フェアや市民団体が主催するイベント等に啓発 ブースを出展します。啓発に当たっては、海洋プ ラスチックごみ問題などの新たな課題についても 取り上げ、環境に配慮した行動の醸成につなげま す。														
				「下水道の日」事 業			継続		下水道総務 課	国土交通省が定める9月10日の「下水道の日」に ちなんで、子供から大人まで楽しみながら下水道 に対する理解を深めてもらうため、下水道につい てのパネル等の展示、下水道クイズやバス見学会 などの取組を行います。また、下水道の啓発を図 るため、市内小学生を対象とした絵画・書道コ ンクールを行います。															
				下水道施設見学の 実施			継続		下水道施設 課	下水処理に関する啓発を図るため、西浦・高瀬下 水処理場にて、施設の見学機会を提供します。															
				5	暮らしに 関する学 習機会の 提供	暮らしに 関する学 習の推進	-	まちづくり出前講 座	継続	●	社会教育 課・各講座 担当課・施 設	市の事業や施策などについての学習機会を提供す るため、市民が主催する学習会や集会に、市の職 員などが講師として出向いて講座を行います。													
								勤労市民センター 事業	継続		商工振興課	市民や勤労者向けの健康体操等を定期的に実施 し、健康づくりの推進を図ります。また、ニー ズ等を把握することにより関心の高い講座を開催 し、文化活動の推進を図るなど、幅広い分野に わたって学習機会を提供していきます。													
								ワーク・ライフ・ バランス推進事業	継続		商工振興課	事業者向けに「ワーク・ライフ・バランス」を 推進するため、セミナー等を開催します。													
								船橋三番瀬漁業の PR	継続		農水産課	市民の漁業に対する理解を深めるため、水産業体 験・イベントの開催などにより、歴史ある船橋三 番瀬漁業をPRします。													

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細
					安全に暮らすための学習の推進	-	「市民とともに考える救急医療シンポジウム」	継続	●	健康政策課	保健医療関係団体や市民関係団体等の代表者で組織する実行委員会の企画運営により、市民に対する救急医療への意識の高揚及び心肺蘇生法の普及・啓発を図ることを目的として、シンポジウムを開催します。また、シンポジウムの一環として、心肺蘇生法講習会を実施します。											
							防犯講座	継続	●	市民安全推進課	警察署との連携により、市民団体や公民館等における、電話de詐欺等に関する防犯講座を実施し、防犯に関して学習する機会を提供します。											
							交通安全に関する啓発事業	継続	●	市民安全推進課	交通安全知識の普及や交通安全思想の高揚を図るため、公民館等において、交通安全教室を実施する他、春と秋の全国交通安全運動期間等に警察署及び関係機関と協働して、啓発活動を実施します。											
					消費生活に関する学習の推進	-	「生き活き展」	継続	●	消費生活センター	消費者が消費生活の問題や知識を理解し、豊かでゆとりのある消費生活を営むことができるようになることを目的として、消費者団体・企業・行政など各団体が一堂に会し、日頃研究した成果を発表します。											
							消費者月間記念事業	継続		消費生活センター	消費者啓発の推進を図るため、記念講演及びパネル展等を開催します。											
							消費者講座	継続		消費生活センター	賢い消費者の育成を目指し、消費生活に関するいろいろな問題を取り上げ、専門講師による各種の講座を開催します。また、講座の内容をより多くの市民の方に視聴してもらい、知識を得てもらうために、可能な限り動画の配信やホームページへの掲載を行います。											
	3	充実した学習のための環境の整備	1	学習に関する情報提供の充実	学習に関する情報の集約と発信方法の充実	4	地域の生涯学習情報の収集と発信	継続		社会教育課	行政が実施する生涯学習事業に加え、地域の大学や企業が実施する事業の情報を積極的に収集し、発信していきます。また、市民の更なる生涯学習事業の利用・参加を促進するため、情報を発信でき、かつ、市民が手軽に生涯学習情報を検索できるアプリケーション等の構築について検討していきます。	●	生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」に掲載する事業数	→	1,269	1,246	1,211	→	生涯学習情報の掲載数については、ほぼ同数で推移しており、継続して地域の生涯学習情報の収集と発信をすることができた。	継続	→	
			2	学びの成果を可視化する仕組みの構築	学びの成果を可視化する仕組みの構築	4	学習・活動歴の奨励	継続		社会教育課	市民の継続した学習を支援するため、学習・活動歴の記録及びその学習・活動を奨励する仕組みの構築について検討していきます。	●	学習・活動歴記録冊子の配布数	→	329	4,945	936	↘	令和5年度に生涯学習部の施設等に学びノートの配布を行い、令和6年度は在庫が無くなった施設等への追加配付を中心に行った。 既に一定の利用者の手元に学びノートが行き渡っていると思われるため、今後は配布数が大きく伸びないと見込まれる。	継続	→	
			3	学習相談体制の整備・充実	学習相談体制の整備・充実	4	学習相談窓口の設置	継続	●	公民館	市民の生涯学習をより推進するため、学習に関する相談に対応し、支援する体制を整備・充実させていきます。	●	公民館窓口における生涯学習に係る相談件数	→	－	524	1,501	↗	公民館での学習に関する相談は多岐にわたり、全ての件数を記録できているわけではないが、記録を開始した令和5年10月から着実に件数を増やしている。	継続	→	
			4	生涯学習施設の充実	公民館の充実	5	公民館の充実	継続	●	公民館	令和3年度までに見直した「今後の公民館に求められる役割」をもとに、公民館の機能の強化・充実を図ります。また、利用基準の見直しや夜間の事業実施などにより、利用率の向上や新しい利用者層の開拓を図ります。	●	公民館の利用率	↗	42.9%	44.0%	44.0%	→	個人利用の開始や空き部屋開放事業等の実施により、利用率の向上を図っているが、休館する公民館もあり、横ばいの結果となった。	継続	↗	個人利用の周知や午後から夜の低利用時間帯の事業を充実させる等、新たな利用者層の獲得やサークル活動の支援等により利用率の向上を図る。
					ふなばし市民大学校の充実	-	ふなばし市民大学校の充実	継続		社会教育課	恒常的に、社会情勢の変化に即したカリキュラムの作成や学部学科の再編などについて検討・実施することにより、魅力あるカリキュラムを提供し続けます。											

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細
					図書館の 充実	-	図書館サービスの 充実	継続		西図書館	「船橋市図書館サービス推進計画」に基づき、 『市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に 応える地域の情報拠点』を目指して、図書館サー ビスを充実させていきます。	●	・レファレンス件 数 ・データベースの 利用件数	→	レファレンス 件数22,742 データベース の利用件数 569	レファレンス 件数20,285 データベース の利用件数677	レファレンス 件数19,303 データベース の利用件数 821	↘	近年、インターネットやAIツールの 利便性により、レファレンス件数が 下がっている。新聞等データベ ースは、利用が伸びているが、両方とも 市民への周知を幅広く行い、サービ スの利用数増加に努める。	継続	→	
					青少年教 育施設の 充実	-	大神保青少年キャ ンプ場の充実	継続		青少年課	施設をより有効に活用するため、民間活力の導入 を検討していきます。また、積極的・効果的な情 報発信等により、魅力的な施設とすることで、利 便性の向上に努めます。											
							一宮少年自然の家 の充実	変更		青少年課	令和3年4月1日より指定管理者制度へ移行したこ とにより、魅力あるプログラムの提供等による サービスの充実及び利用率の向上を図ります。											
							青少年会館の充実	継続		青少年課	青少年団体等の利用促進を図るため、積極的に 情報を発信するとともに、魅力的な事業を企画し ます。											
				都市公園 の充実	-	都市公園の整備	継続			公園緑地課	自然環境を守り、緑の創造を行い、世代を越えて 自由にコミュニケーションができる場、憩いの 場、健康づくりの場として、都市公園を積極的に 整備します。											
					障害の有 無に関わ らず学習 できる環 境の整備	3	障害のある人が学 び続けられる環境 の整備	継続	●	社会教育 課・生涯学 習部が所管 する施設	障害のある方々の学校卒業後の生涯を通じた多 様な学習活動を支援するため、生涯学習における 合理的配慮を行います。 ※「合理的配慮」とは「来館されるすべての方に向け た基礎的環境整備」と「個々のニーズに対応する合理 的配慮」の両方の概念をあわせて取り扱い、「障害を 理由に参加を断らない」「廊下や通路に歩行の障害に なるようなものを置いていない」「障害者用または多 目的トイレがある」「障害者用駐車場がある」「障害 者等から施設利用に関する相談があった場合、前向き に利用を保障しようとしている」等とする。	●	合理的配慮を行っ ている施設数	→	68	68	68	→	生涯学習部が所管する全ての施設に おいて、合理的配慮が行われてい る。	継続	→	
Ⅱ	1	地域・社 会で活躍 する人 材・団体 の育成と 支援	1	地域・社 会で活躍 する人材 の育成と 支援	地域・社 会で活躍 する人材 の育成と 支援	2	ふなばし市民大学 校<まちづくり学 部>における地域 人材の育成	継続	●	社会教育課	まちや地域に関心をもち、自分に合ったボラン ティア活動につながる知識や技術の習得を目指す ためのカリキュラムを提供し、地域で活躍する人 材を育成します。	●	受講者数	→	102	100	99	→	昨年度とほぼ同数で推移しており、 各学科にて地域人材の育成を行うこ とができた。	継続	→	
							ふなばし市民大学 校<市民スマホコン シェルジュ養成 講座>における地 域人材の育成とそ の活動支援	継続		社会教育 課・公民館	スマートフォンに関する知識や教え方について学 ぶ養成講座を行い、「市民スマホコンシェル ジュ」として地域で活躍する人材を育成しその活 動について支援します。	●	市民スマホコン シェルジュ養成講 座修了者の活動件 数	→	21	11	14	↗	スマホ相談会を行う市内の施設に市 民スマホコンシェルジュを派遣する ことで、主に高齢者のスマホ操作に 関する悩みの解決に寄与している。 また、スマホ講座等を行う公民館で の活動も行った。	継続	→	
							体操指導士の養成	継続		健康づくり 課	市民自らが体操の指導士となり、相互に支え 合って地域の健康づくりと介護予防に取り組むこ とを目的として、ふなばしシルバーリハビリ体操 の体操指導士を養成します。											
							生活・介護支援サ ポーター養成事業	継続		高齢者福祉 課	介護施設や介護が必要な高齢者の自宅に派遣する ため、社会参加の意欲の高い、自立した元気高 齢者などをサポーターとして養成します。											
							農業支援者育成講 座	継続		農水産課	1年間の研修をとおして農作業に必要な基礎的知 識や技術を習得する講座を受講後、「船橋市援農 クラブ」の会員となり、農業ボランティアとして 活躍する人材を育成します。											
							地域防災リーダー 養成事業	継続		危機管理課	地域での防災活動を担う人材を育成するため、地 域防災リーダー養成講座を開催します。また、町 会・自治会等の防災意識を高め、自主防災組織 の結成、活動促進につなげます。											

基本 施策				施策	取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細	
							災害時外国人支援 サポーター養成事業	変更	●	国際交流課	大地震や大規模災害が発生した際に要配慮者となり得る外国人住民のために、外国人支援サポーターとして活動するボランティアを養成するため、国際交流協会やその他関係団体と協力して研修を開催します。												
							船橋市生涯学習 コーディネーター の支援	継続	●	公民館・社会教育課	協働による公民館事業の開催等により、ふなばし市民大学校のまちづくり学部生涯学習コーディネーター養成学科を修了した生涯学習コーディネーターのスキルアップを図るとともに、その過程で得た知見等を市民大学校に還元し、カリキュラムの改善等に協力していきます。	●	船橋市生涯学習 コーディネーター と協働し実施する 事業数	→	44	103	86	→	各行政ブロックにおいて生涯学習 コーディネーターとの協働により 様々な事業を実施することができ た。	継続	→		
	2	地域・社会で活躍 する団体の 育成と 支援	地域・社会で活躍 する団体の 育成と 支援	-	社会教育関係団体の 結成支援と存続 支援	継続		公民館	事業の実施による新規団体の結成支援や、既存の団体の存続支援に加え、一般団体からの移行支援等を行います。	●	既存団体の継続支援 及び新規団体設立への支援に係る 事業数	↗	102	105	112	↗	サークル見学会・体験会の実施により、多くの方がサークルに入会した。	継続	↗	さらに参加者が増え、よりサークルへの関心を高める活動とする。			
					消費者団体育成事業	継続		消費生活センター	消費者団体のより一層の育成を図るため、団体の実施する各種講座に研究者・専門家及び消費生活相談員を派遣します。														
					青少年団体等支援事業	継続		青少年課	青少年キャンプや船橋市・津別町青少年交流等、青少年団体等が、青少年の健全育成を目的として事業を実施する際に支援をします。														
					地域福祉活動助成金の活用促進	継続	●	地域福祉課	地域福祉活動を行う団体に助成金を交付することで、団体の育成と支援を行うとともに、ボランティアが活躍できる場を創出します。														
					学びあい交流会	継続		市民協働課	市民活動を行ううえで必要な知識やノウハウを学びながら団体同士の交流を図ることを目的として、市民活動団体やボランティア活動団体共通のテーマを設定し、研修会を実施します。	●	開催回数	→	4	5	2	↘	協働先のサポートセンター運営協議会の委員改選の影響により、開催回数は減少したが、来年度連続性のあるワークショップの企画を予定しており、増加する見込み。	拡大	↗	連続性のあるワークショップを実施した。また、公募型交流会の採用団体数の増加等を検討中である。			
	2	「つながり」を育む学習・活動の推進	1	地域課題に関する取組の推進	地域課題に関する学習と活動の推進	5	地域課題発見・解決事業 （市民の力活用事業）	継続	●	公民館	現代社会や地域の抱える諸課題について、市民の持つ知識や経験を活かした課題解決のための講座や集会活動を市民から提案してもらい、公民館と共同で開催することにより地域力の向上を目指し、また地域活動団体の育成を図ります。今後は、社会教育主事の任用資格を持つ職員が中心となり、地域住民と協働や、NPOや大学、企業などとの連携を促進します。	●	実施事業数	↗	1	3	4	↗	中高年層への学習や交流の機会の創出、共生社会の実現といった課題に対して、提案のあった事業について実施した。各事業とも定員を上回る申込があった。	継続	→		
							市民公益活動公募型支援事業	継続	●	市民協働課	市民活動団体の柔軟な発想や創意工夫により地域の課題解決を進めていくため、市民活動団体から提案を受けた事業のうち、公益的な活動に支援金を交付します。												
						防災学習の推進	-	防災講座	継続	●	公民館	地域住民の防災意識の醸成や地域における防災力の向上を図ることを目的として、地域住民や地域の防災関係団体と連携し、防災に関する講座を実施する。	●	参加者数	→	359	503	513	↗	災害時のスマホの使い方講座や危機管理課職員による能登半島地震派遣活動報告と船橋市の防災についての講義などを行った。 また、公民館によっては、災害時に避難所運営等に携わることが想定される町会・自治会の方にも多く参加していただいた。	継続	→	
								公民館における防災訓練	継続	●	公民館	各公民館において、地域住民と連携し、実践型の防災訓練を実施します。	●	訓練実施館数	→	10	10	14	→	地域の住民と協働して消火訓練などを実施した。	継続	→	
								総合防災訓練	継続	●	危機管理課	災害時に円滑な避難所運営を行うため、宿泊可能避難所となる市内小学校・中学校等において、市民参加型の総合防災訓練を実施します。											
								健康づくり・介護予防の推進	-	市民ヘルスマーケティング	継続	●	健康づくり課	健康や介護予防に関する地区の現状と課題を整理し、市民とともに考え、解決に向けた方策に取り組むため、24地区コミュニティでヘルスマーケティングを開催します。									

基本 施策					取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細
					防犯体制整備の支援	-	防犯パトロール支援事業	継続	●	市民安全推進課	防犯パトロール隊の立ち上げや活動を支援するため、月1回以上防犯パトロールを実施している（予定も含む）団体に対し、防犯パトロール物資の支給を行っています。また、自主防犯パトロールの補完として、町会・自治会等を対象に、防犯カメラを設置する際に補助金を交付します。											
					2 家庭と地域の教育力向上のための取組の推進	-	健康教育事業（母子）	継続		地域保健課	乳幼児の健康や保護者の育児不安を解決するとともに、正しい知識の普及を図るため、各保健センターや地区で健康講座を開催します。											
							子育て支援センター事業	継続		地域子育て支援課	講座や講演会、年齢別・テーマ別の集いなどの継続的な子育て支援の取り組みを実施します。また、専門知識を持ち様々な子育ての悩みに対応できる子育て支援コーディネーターを配置し、子育て相談やアドバイスをを行います。											
							就学時健診等における子育て学習	継続	●	公民館	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育力を高めることを目的として、子育て講座を実施します。											
							家庭教育セミナー	継続	●	公民館	家庭の教育力の向上を目的として、PTA等と連携し、子供との関り方などに関するセミナーを全公民館で開催します。											
					地域の子供を地域で守り育てる体制の整備・充実	5	公民館における学社連携事業	継続	●	公民館	総合教育センター主催の「学社連携研修」等により、公民館職員と教員の関係づくりを行い、小・中学校の児童・生徒が地域社会の大切さを学べるよう、公民館サークルとの交流体験や、授業支援事業等、学校との連携を推進します。	●	学社連携事業の実施回数	→	15	36	47	↗	近隣の小学校・中学校・高等学校等と連携した事業を企画、実施できている。また、事業を実施する公民館が増加したことにより、実施回数も増加した。	継続	→	
							地域学校協働活動	新規	●	青少年課	地域全体で学校を支援していく体制づくりを推進し、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための仕組みの構築を目指し、地域と学校とをつなぐコーディネーターとしての役割を担う地域学校協働活動推進員を学校単位で委嘱し、その活動に要する消耗品を支給します。	●	協働活動を実施したことで学校に対する地域や保護者の理解が深まったと認識している学校の割合	-	-	-	83.1%	-	令和5年度まで実施していた学校支援地域本部が廃止され、地域学校協働活動が開始されることとなった。初年度であったものの、各学校で地域学校協働活動推進員を中心に活動が実施できた。	継続	→	
							スクールガード・リーダー制度	継続	●	保健体育課 児童・生徒 防犯安全対策室	通学路等の巡回指導を行い、スクールガード連絡調整会議を通じて、学校、保護者、スクールガード等と共通認識を図ります。											
							学校教育活動支援ボランティア	継続	●	指導課	社会に開かれた教育課程の実現に向けて、各教科等の学習等において、地域の方々や保護者にゲストティーチャーや指導補助等を依頼し、学習活動の充実を図ります。											
							学習サポーター派遣事業	継続	●	指導課	子供たち一人一人の個に応じた学習支援や教育活動全般に関する指導援助を行うため、協力大学と連携し、教員志望の意欲ある学生等を学習サポーターとして市内全小学校に配置します。											
							小・中学校部活動外部指導者派遣事業	継続	●	保健体育課	部活動顧問と外部指導者により部活動の指導をするとともに、顧問の指導力の向上を目指します。											

基本 施策				施策		取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R4実績値	R5実績値	R6実績値	実績区分	R6実績所感	R7 事業区分	R7 目標区分	R7詳細
			3	地域にお ける交流 機会の創 出	地域にお ける交流 機会の創 出	3 ・ 5	公民館での地域交 流事業	継続	●	公民館	文化祭等、地域住民が集う機会を創出し、住民 同士の交流を促進します。	●	文化祭・福祉まつ り・こどもまつり の実施数	↗	51	59	65	↗	全ての公民館（休館中の公民館を除 く）において、事業を実施すること ができた。	継続	→		
						保育園での地域交 流事業	継続	●	保育運営課	地域の子育て支援として、育児相談、育児講座、 園庭開放を実施します。													
						子育てサロン、ミ ニデイサービス、 ふれあい・いきい きサロン事業の補 助	継続	●	地域福祉課	地区社会福祉協議会が実施する子育てサロン、ミ ニデイサービス、ふれあい・いきいきサロンに要 する経費を補助し、子育て世代や高齢者の居場所 を作り、地域での交流を促進します。													
	3	学びの成 果を活用 するた めの環 境の 整備	1	活動に関 する情報 提供の充 実	活動に関 する情報 の収集と 発信	4	ふなばし市民力発 見サイト	継続		市民協働課	船橋市内において、様々な知識、経験、技能等 を持つ、若しくは公益的な活動を行う個人又は 団体に加え、市が募集するボランティア等の情報 を「ふなばし市民力発見サイト」で発信します。	●	サイト登録者数	→	593	576	470	↘	登録要件の見直し（非アクティブ層 の登録廃止）により、市民力発見サ イトの登録者数は減少したものの、 市民活動サポートセンター利用者数 は前年度に比べて増加しており、市 民活動を行う市民の増加が見受けら れた。	継続	→	引き続き登録者数の増 加に努める。	
	2		活動へつ なげる コーディ ネート機 能の強化	活動へつ なげる コーディ ネート機 能の強化	4	学習成果の活用支 援	継続	●	社会教育 課・公民館	サークル活動や講座受講などで学んだことを実際 に活かしたり、自分もつ技能や知識を活かした いと思っている人と、学びたいと思っている人と を結び、学び合いを促進する仕組みの構築につい て検討していきます。	●	生涯学習人材バン ク利用数	↗	4	12	6	↘	利用数を増加させるために、新たに チラシの作成、関係機関への周知、 オンラインの導入をしたものの、利 用数が減少した。	継続	↗	これまでどおり事業を継 続して行うが、併せて利 用ニーズを踏まえた実 施内容の検討も行ってい く。		
						市民活動に関する なんでも相談窓口	継続		市民協働課	市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献 する活動を支援する施設である「市民活動サポ ートセンター」において、市民活動に関する相談事 業を実施します。													
						市民活動フェア	継続	●	市民協働課	公募市民で組織した実行委員会が主体となり、 市民活動やボランティア活動等様々な社会貢献活 動に参加するきっかけの場を提供するためのイベ ントを開催します。													
						ふなばし夏のボラ ンティア体験事業	継続	●	市民協働課	主に夏休み期間中、中学生・高校生・専門学校 生・大学生を対象として、地域で活動を行うボラ ンティアグループの活動、また福祉施設でのボラ ンティア活動を実際に体験するイベントを開催し ます。													